

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月27日

事業所名: 児童発達支援 児童発達支援施設キッズプラスいろいろ

対象人数(保護者)21人 回答者数 18人 回収 85.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					発達や活動内容に応じてグループ分けをし、活動しやすい環境整備に努めております。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		2	実際に見ていないので分からない部分があります。ただ、不安定になった際にマンツーマンで寄り添って対応して頂けてるので、その部分では安心しています。	今後も引き続き、適正な人員配置を維持します
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					今後も引き続き、活動しやすい環境整備に努めます
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	17			1		・必要に応じてセンターよりOT・PT・ST・ 心理士を派遣していただき、スーパ ーバイズを受けて支援に活かして おります。
	⑥	事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	18					事業所の支援プログラムに基づ き計画書の作成を行ない、支 援を提供しております
	⑦	こどものことを十分に理解 し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析され た上で、児童発達支援計画 (個別支援計画)(※3)が作 成されていると思いますか。	18					
	⑧	児童発達支援計画には、 児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供す べき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」 で示す支援内容からこども の支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具 体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	18					
	⑨	児童発達支援計画に沿った 支援が行われていると思 いますか。	18					
	⑩	事業所の活動プログラム (※4)が固定化されないよう 工夫されていると思 いますか。	17			1		その日利用されるお子様の 特性や興味関心に合わせ て内容を調整しています。 また、お子様が飽きず に楽しく参加できるよう、 新しい活動や教材を取り 入れながら活動内容の 工夫を行っております。
	⑪	保育所や認定こども園、 幼稚園等との交流や、 その他地域で他のこども と活動する機会があり ますか。	11	2	3	2		前期は子ども園との交流 の機会を設けることが できましたが、後期は 子ども園の行事や当 事業所の支援状況等 により、交流の機会 が少なくなりました。 今後は関係機関と 連携を図りながら、 可能な範囲で交流 の機会を設け、地 域の子どもたち との関わりが持 てるよう努めて参 ります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1				・家族支援や子育てサポートなどの実施を行っています。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				家族支援を個々に実施しております。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4		2		家族交流デイという家族交流イベントを今年度は3回行いました。きょうだい児向けのイベントは現在実施しておりません。当事業所は土日閉所のため、きょうだい児を含めたイベントの実施が難しい状況にあるためです。今後はきょうだい児への支援や交流の機会について、実施の可能性を含めて検討してまいります。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1				家族支援として保護者との面談の機会を設け、相談等に対応しています。今後はお便り等を通して相談の機会があることを周知し、より利用しやすい体制づくりに努めて参ります。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17			1		連絡アプリやインスタグラム、月1回のお便りを通して、活動内容や行事予定等の情報を発信しています。また、自己評価の結果についてはホームページに掲載しています。今後は、ホームページのブログの活用についても検討してまいります。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		5		各種マニュアルは整備し、契約時に説明しています。訓練も療育内で実施しており、年に一度の引き渡し訓練をおこなっております。今後は保護者様への周知方法の充実を図り、体制の強化に努めて参ります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			4		・火災、地震、風水害、不審者対応の避難訓練は月に一度実施しております。 ・法定に従ってマニュアルを策定しておりますが、改めて周知徹底に努めて参ります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	17	1				・マニュアルを策定しておりますが、改めて周知徹底に努めて参ります。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	14	2		2		・事故の発生が無いよう細心の注意を払って療育を行っておりますが、万が一事故が発生した場合には迅速な対応と連絡、正確な情報伝達に努めて参ります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	18					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18				とても楽しみにしています。	今後もお客様の興味関心や好みを探り、プログラムを工夫することで、さらに楽しい生活の場となるよう努めて参ります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	18				いつでも子供のことを考えてくださり、子供も先生方が大好きです。親にも親身になって相談に乗ってくださったり、本当になくはない心の拠り所です。	今後もさらにご満足頂けますよう努めて参ります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすい、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。当事業所ではホームページ内に記載してあります。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。